

和歌山県地域医療構想（有田保健医療圏構想区域）調整会議 設置要綱

（設置及び名称）

第1条 和歌山県地域医療構想（医療法（昭和23年法律第205号）第30条の4第2項第7号の規定に基づき和歌山県が策定した地域医療構想をいう。以下同じ。）の達成を推進するために必要な協議を行うため、同法第30条の14第1項に定める「協議の場」として、和歌山県地域医療構想（有田保健医療圏構想区域）調整会議（以下「調整会議」という。）を設置する。

（協議事項）

第2条 調整会議は、次に掲げる事項について協議する。

- （1）地域の医療機関が担うべき病床機能に関すること
- （2）病床機能報告制度に基づく情報の共有等に関すること
- （3）地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律（平成元年法律第64号）第4条の規定に基づく県計画に盛り込む事業に関すること
- （4）その他、和歌山県地域医療構想の達成を推進するために必要な協議事項
- （5）外来医療医療に係る医療提供体制を確保するために必要な事項

（調整会議の組織及び委員）

第3条 調整会議は、関係行政機関、医療関係団体、関係医療機関等（別表）から選出された委員をもって構成する。

（議長及び副議長）

第4条 調整会議に、議長を置く。

- 2 議長には、和歌山県湯浅保健所長があたる。
- 3 議長は、会務を総理し、調整会議を代表する。
- 4 議長は、必要があるときは、調整会議に諮って副議長を置くことができる。
- 5 副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるときは、その職務を代行する。

（会議）

第5条 調整会議は、議長が招集する。

- 2 議長は、調整会議における協議をより効果的・効率的に進める観点から、調整会議の議事等に応じて出席を求める委員（以下「出席依頼委員」という。）を柔軟に選定することができる。
- 3 調整会議は、出席依頼委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。
- 4 議長は、委員の代理出席を認めることができる。
- 5 調整会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 6 議長は、上記の委員のほか、必要があるときは委員以外の者を会議に出席させることができる。
- 7 議長は、必要と認める場合には、委員（又は第2項の規定による出席依頼委員）に対して書面又は電磁的方法により賛否を求め、その回答をもって、会議の開催に代えることができる。

第6条 専門の事項を調査審議させるため、議長が必要と認めるときは、調整会議に部会を置くことができる。

（庶務）

第7条 調整会議の庶務は、和歌山県湯浅保健所において処理する。

（その他）

第8条 この要綱に定めるもののほか、調整会議の運営に関し必要な事項は、議長が別途定めるものとする。

附 則

この要綱は、平成28年9月8日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年3月2日から施行する。

附 則

この要綱は、令和2年 3月25日から施行する。

有田保健医療圏構想区域調整会議委員

令和3年5月28日現在

所属	氏 名	備 考
有田市医師会長	中村 吉伸	
有田医師会長	野田 倫代	
有田歯科医師会長	湯田 武一	
有田薬剤師会副会長	井上 哲夫	
公益社団法人和歌山県看護協会 有田地区支部 支部長	小原 喜代子	
有田市立病院長	曲里 浩人	
済生会有田病院長	瀧藤 克也	
西岡病院長	西岡 平	
桜ヶ丘病院長	成川 暢彦	
有田南病院長	南 良暢	
和歌山県立こころの医療センター病院長	森田 佳寛	
全国健康保険協会和歌山支部 企画総務部長	近藤 こずえ	
医療法人 大和会 土屋クリニック 院長	土屋 等	
医療法人 明誠会 橋本胃腸肛門外科 院長	橋本 忠明	
しまクリニック 院長	島 和生	
有田市 健康課長	桃井 克博	
湯浅町 健康推進課長	前田 和昭	
広川町 住民生活課長	大西 伸英	
有田川町 健康推進課長	井本 英克	
湯浅保健所長(議長)	松本 政信	